

肖像画



アントニー・ヴァン・ダイク《ベッドフォード伯爵夫人 アン・カーの肖像》1639年 油彩・カンヴァス

明るいタッチ



ピエール＝オーギュスト・ルノワール《赤い服の女》1892年頃 油彩・カンヴァス

この頃の絵は、どうして暗いのでしょうか？
浮き出て見せるため？



コルネリス・ファン・スペンドック《花と果物のある静物》1804年 油彩・カンヴァス

男が若い女性をかまっており
その後ろで男の妻が怒っています



ピエール・ベルゲーニュ《田園の奏楽》17世紀後半-18世紀初頭 油彩／カンヴァス

真近で見ると、左足が
浮き出て見えました



ジャック＝ルイ・ダヴィッドの工房《サン＝ベルナル峠を越えるボナパルト》1805年 油彩・カンヴァス



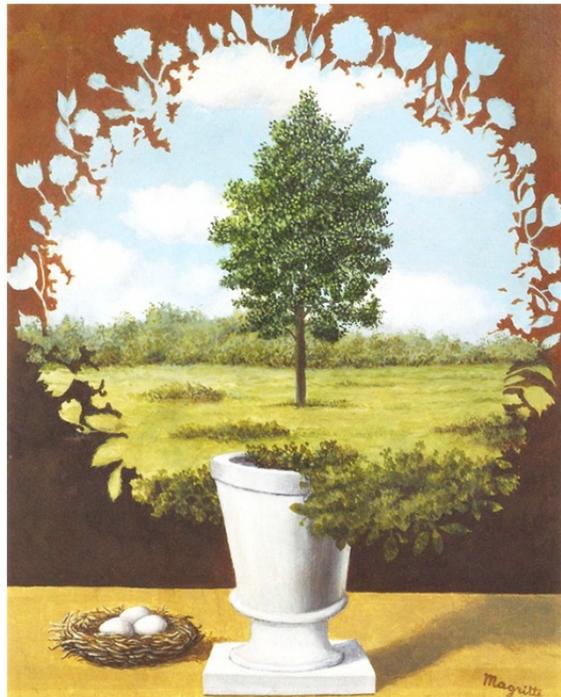
?



有名な「落穂拾い」に比べると明るい



ジャン=フランソワ・ミレー 《鶯鳥番の少女》 1866-67年 油彩／カンヴァス



ルネ・マグリット 《再開》 1965年 油彩／カンヴァス

ユトリロが描く
詩情あふれるパリの街角



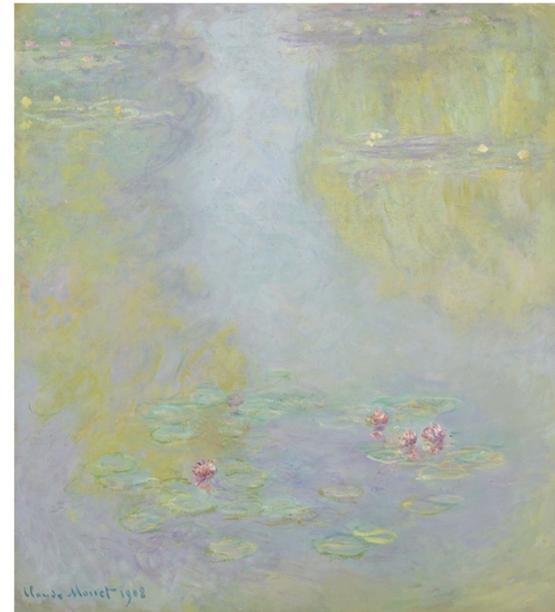
モーリス・ユトリロ《モンマルトル、ノルヴァン通り》 1916年頃 油彩・カンヴァス

キスリングの
個性豊かな絵画表現



キスリング《花》 1929年 油彩・カンヴァス

撮影許可でした



クロード・モネ《睡蓮》 1908年 油彩・カンヴァス